

プロジェクトX ー 挑戦者たち

牧草 泉

現役だったころ「地上の星」を聴いた
叱咤激励しているように聞こえた

これでもまだ鞭打つのか？と反発した

この歌が嫌いだった

中島みゆきも遠い存在だった

ひと時の安らぎがほしい

何度も思った

でも

この歌のせいで敗者になりたくない

「戦うんだ 戦い抜くんだ」と全身に鞭打った

必死で自分のノルマを果しながら邁進した

鏡の中に

疎らな白髪を見ながら一線を退いた

無の空間に身を置いたとき

偶然

「ヘッド・ライト テール・ライト」を聴いた
働く者に安らぎを与える曲だった

やはり

プロジェクトXで彼女は歌っていた

聞き漏らしてたんだ！

愕然とした

彼女の歌は限りなくやさしかった

自分を恥じた 心で彼女に詫びた

そして

梅の香を遠くに愛おしみながら

固く誓った

彼女の心の温かさを胸に

残りの人生を全うしよう

ブーメラン

過去はすべて
捨てたはずなのに
いつも振り返る
影のように寄り添う
流れない時間
何度放り出しても
ブーメランのように
戻ってくる過去

わたしを捨てて
どこへ行くの？
どこへも行けないよ
荒野を指したければ
わたしをしつかり抱いて
あなたには
わたしが必要なのよ

あすあなたにだつて
あつてきな出会いが
たじやない？

ボクのポップス遍歴

P P Mをテレビで見た
美しいハーモニーに陶醉した
カントリー&ウエスタンからフォークへと
華麗に転身
そして
ブラザーズ・フォアへ
五百マイル 風に吹かれて 七つの水仙
四百キロの道のりを厭わずに
ブラザーズ・フォアのライブに行った
帰りの夜 汽車も苦にならなかった
でも
誰かが言っていた
「今日のオレは昨日のオレじゃない」って
フォークも例外ではなかった
メアリーはおばちゃんになっていた
あの美しい声も時間の僕だった

そうなんだ 時間は後戻りできないんだ

P P M のライブは永遠に去った

悔しい 悲しい 寂しい

ふと

ボクはつぶやく

「カントリー&ウエスタンに戻ろうかな」